

令和５年度進行管理・評価シート
杵築市歴史的風致維持向上計画（令和３年３月２３日認定）

□進捗評価シート(様式１)

| | | |
|----------------------------------|-------|----|
| ①組織体制(様式１－１) | | |
| １ 杵築市歴史的風致維持向上計画の組織体制 | | １ |
| ②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式１－２) | | |
| １ 都市計画との連携 | | ２ |
| ２ 杵築市農業振興地域整備計画との連携 | | ３ |
| ３ 杵築市景観計画との連携 | | ４ |
| ４ 杵築市北台南台伝統的建造物群保存地区保存計画との連携 | | ５ |
| ５ 大分県屋外広告物条例との連携 | | ６ |
| ③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式１－３) | | |
| １ 重要伝統的建造物群保存地区保存整備事業 | | ７ |
| ２ 歴史的風致形成建造物の保存対策事業 | | ８ |
| ３ 歴史的建造物腐朽等対策事業 | | ９ |
| ４ 歴史的建造物保存対策調査事業 | | １０ |
| ５ 史跡杵築城跡保存活用計画策定事業 | | １１ |
| ６ 重要伝統的建造物群保存地区の修景事業 | | １２ |
| ７ 地区計画修景支援事業 | | １３ |
| ８ 空家活用支援事業 | | １４ |
| ９ 伝統文化記録調査事業 | | １５ |
| １０ 文化財保存活用地域計画作成事業 | | １６ |
| １１ 文化財案内板等整備事業 | | １７ |
| １２ 歴史資料収蔵庫整備事業 | | １８ |
| ④文化財の保存又は活用に関する事項(様式１－４) | | |
| １ 文化財の保存又は活用に関する事項 | | １９ |
| ２ 文化財の修理(整備)に関する事項 | | ２０ |
| ３ 文化財の保存・活用を行うための施設に関する事項 | | ２１ |
| ４ 文化財の周辺環境の保全に関する事項 | | ２２ |
| ５ 文化財の防災に関する事項 | | ２３ |
| ６ 文化財の保存及び活用の普及・啓発に関する事項 | | ２４ |
| ７ 埋蔵文化財の取扱いに関する事項 | | ２５ |
| ８ 教育委員会等の体制に関する事項 | | ２６ |
| ９ 各種団体の体制整備に関する事項 | | ２７ |
| ⑤効果・影響等に関する報道(様式１－５) | | |
| １ 杵築市の歴史まちづくりに関する報道 | | ２８ |
| ⑥その他(効果等)(様式１－６) | | |
| １ 重点地区内の歴史的まちなみ景観への全国的注目と活用について | | ２９ |
| □法定協議会等におけるコメントシート(様式２) | | ３０ |

評価軸①-1

組織体制

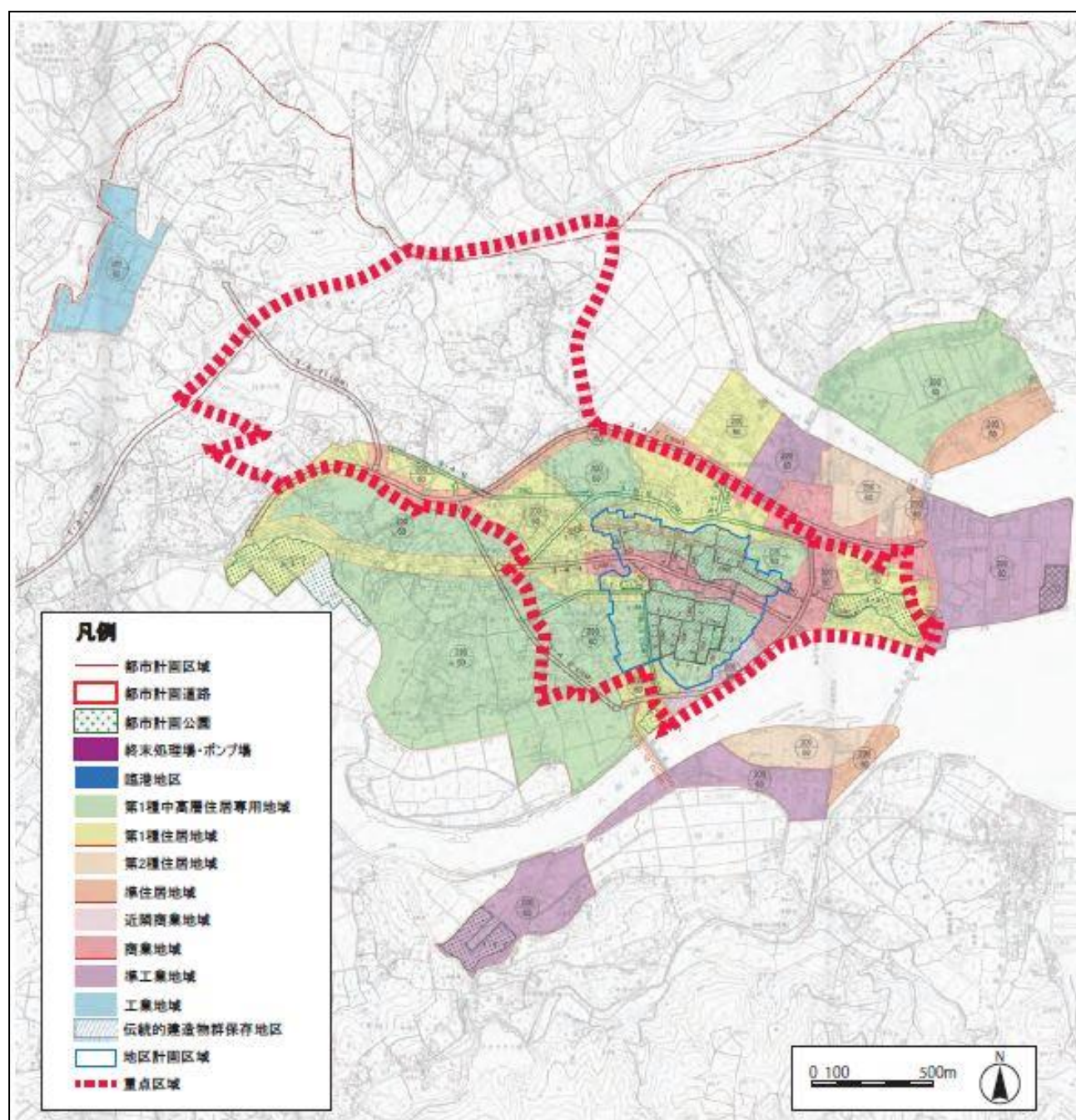
| 評価対象年度 | | 令和5年度 |
|---|--|---|
| 項目 | | 現在の状況 |
| 杵築市歴史的風致維持向上計画の組織体制 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |
| 計画に記載している内容 | <p>本計画の実施体制は、企画財政課及び文化・スポーツ振興課を事務局とし、関係各課との連絡調整により、担当者会議を行う庁内推進体制とする。</p> <p>歴史まちづくり法第11条の規定に基づく杵築市歴史的風致維持向上協議会から計画書への提案、意見を受け、事業を推進していく。</p> <p>また、文化財の所有者や文化財保護、まちづくり団体、住民等との連絡調整を行うほか、国及び大分県と協議し、助言を受ける。必要に応じて、都市計画審議会や文化財調査委員会へも報告を行い、意見を求めつつ、事業を推進していく。</p> | |
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で | | |
| <p>事務局の企画財政課(都市計画担当)と文化・スポーツ振興課(文化財担当)が連携して事業を推進している。</p> <p>令和6年5月15日 第1回杵築市歴史的風致維持向上協議会を開催し、令和5年度事業についての進捗評価を行った。</p> | | |
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | <p>各種事業を円滑に推進していくため、各種補助事業の積極的な活用、周辺住民の合意形成を図っていく必要がある。</p> <p>歴史まちづくりに関する情報を発信し、市民の意識向上を図る必要がある。</p> | |
| 状況を示す写真や資料等 | | |
| <p>【歴史的風致維持向上計画の策定体制】</p> <p>歴史的風致の維持向上に資する各種事業等の展開・推進</p> | | |

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

| | | 評価対象年度 | 令和5年度 |
|--|---|---|-------|
| 項目 | | 現在の状況 | |
| 都市計画との連携 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |
| 計画に記載している内容 | 城下重点区域は都市計画区域内にあり、第1種中高層住居専用地域、第1種住居地域、準住居地域、近隣商業地域、商業地域が含まれる。また、城下町には伝建地区が位置し、その周囲に杵築市城下町地区地区計画区域を定め、きめ細やかな誘導を図っている。 本計画の推進にあたっては上記をふまえ、都市計画行政との連携を図りながら良好な景観の形成に取り組んでいく。 | | |
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で | | | |
| 用途地域や城下町地区地区計画、景観計画に基づき、建築物や工作物等における用途や行為に関して、適正な制限および土地利用等を図り、良好な景観形成に努めた。 | | | |
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | | 伝建地区及び城下町地区地区計画区域での建築行為等は届出を提出することとしており、修景基準に適合しているかの審査を行った。今後も運用を続け、良好な景観形成を図る。 | |
| 状況を示す写真や資料等 | | | |

【都市計画区域及び用途地域と重点区域の関係】



評価軸②-2

重点区域における良好な景観を形成する施策

| 項目 | 評価対象年度 | 令和5年度 |
|-------------------|--------|---|
| | | 現在の状況 |
| 杵築市農業振興地域整備計画との連携 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |

計画に記載している内容 城下重点区域の一部は農業振興地域内であることから、本計画の推進にあたっては杵築市農業振興地域整備計画との整合を図り、秩序ある農村環境の保全に取り組んでいく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

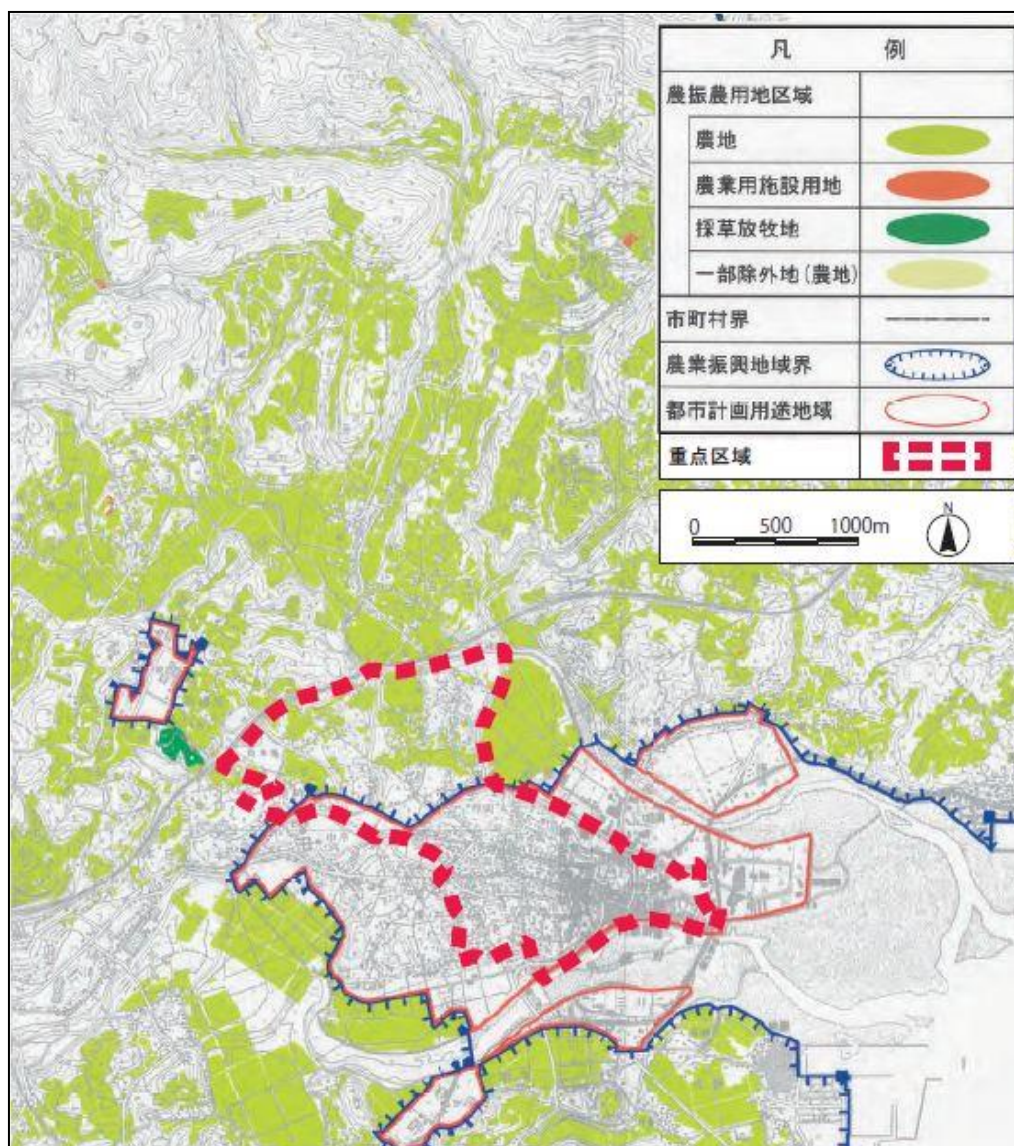
農地の保全と無秩序な市街化を予防するため、農振農用地区域内で家屋の建設、商業施設の建設等の農用地以外の用途に供することを目的とする計画がある場合、まずは農業振興地域外もしくは農業振興地域の農用地以外への誘導を検討して、やむを得ず農用地区域を含む場合は杵築市農業振興地域整備計画(農用地区域)の除外申請を提出してもらい、農地法第13条2項に照らし合わせて農用地区域からの除外の可否を行った。

重点区域内での除外・・・令和2年度:3件、令和3年度:3件、令和4年度:4件、令和5年度:2件

| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) |
|--|--------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | |

状況を示す写真や資料等

【農業振興地域整備計画と重点地区との関係】

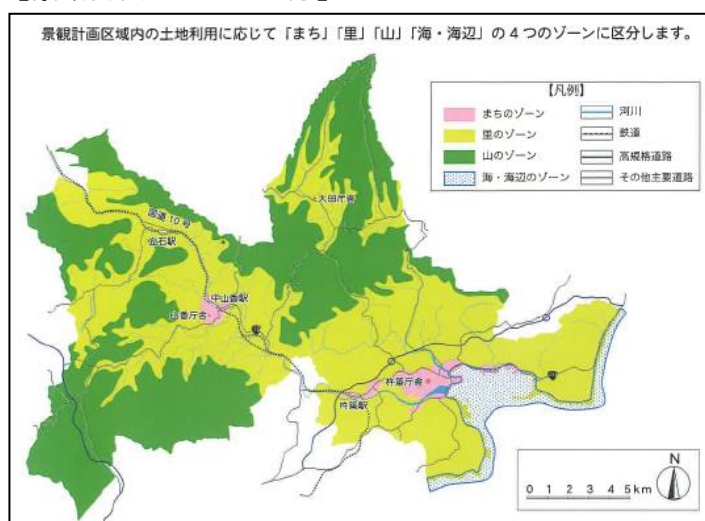


評価軸②-3

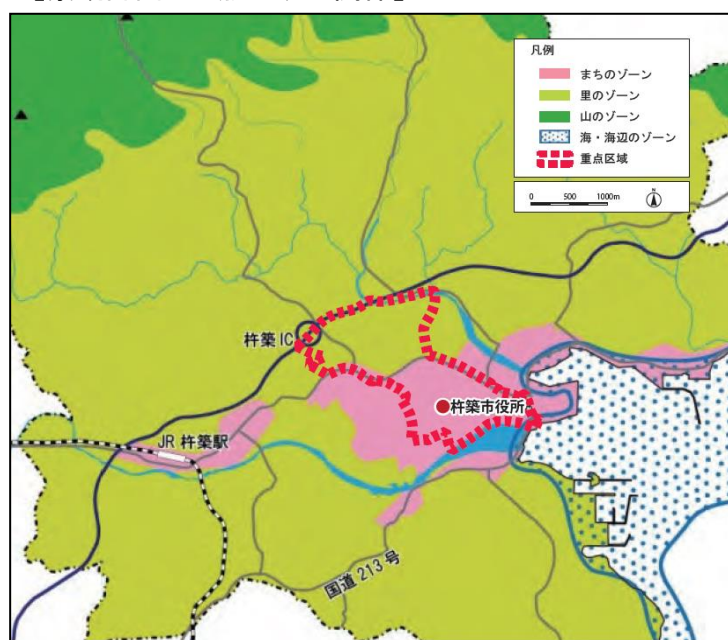
重点区域における良好な景観を形成する施策

| | | 評価対象年度 | 令和5年度 |
|---|--|--|-------|
| 項目 | | 現在の状況 | |
| 杵築市景観計画との連携 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |
| 計画に記載している内容 | 杵築市は、豊かな自然と文化を守るため市内全域が景観計画区域に指定されている。景観法に基づく届出が必要な行為及び基準が定められ、一定規模以上の建築物・工作物等の開発に対し良好な景観を形成するように規制している。 城下重点区域は「まちのゾーン」及び「里のゾーン」となっており、各ゾーンに応じた良好な景観の形成に取り組んでいく。 | | |
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で | | | |
| 建築物や工作物の新築、増築、改築若しくは移転、外観を変更することとなる修繕若しくは模様替又は色彩の変更、開発行為などのうち、良好な景観形成に影響を及ぼすおそれのある行為に関しては、景観法第16条に基づく届出制度により、景観誘導を図っている。 【令和3年度】届出:53件、通知:3件(うち、重点区域内 届出:4件) 【令和4年度】届出:54件、通知:2件(うち、重点区域内 届出:1件) 【令和5年度】届出:47件、通知:2件(うち、重点区域内 届出:4件) | | | |
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | | 平成25年(2012年)3月に杵築市景観計画を策定した。良好な景観の形成を実施するために建築物などの新築・改築・増築や屋外広告物など、景観が変わる行為を行う際、届出が必要であり、景観計画の基準に適合するよう指導が必要である。 | |
| 状況を示す写真や資料等 | | | |

【景観計画のゾーン区分】



【景観計画と重点区域の関係】



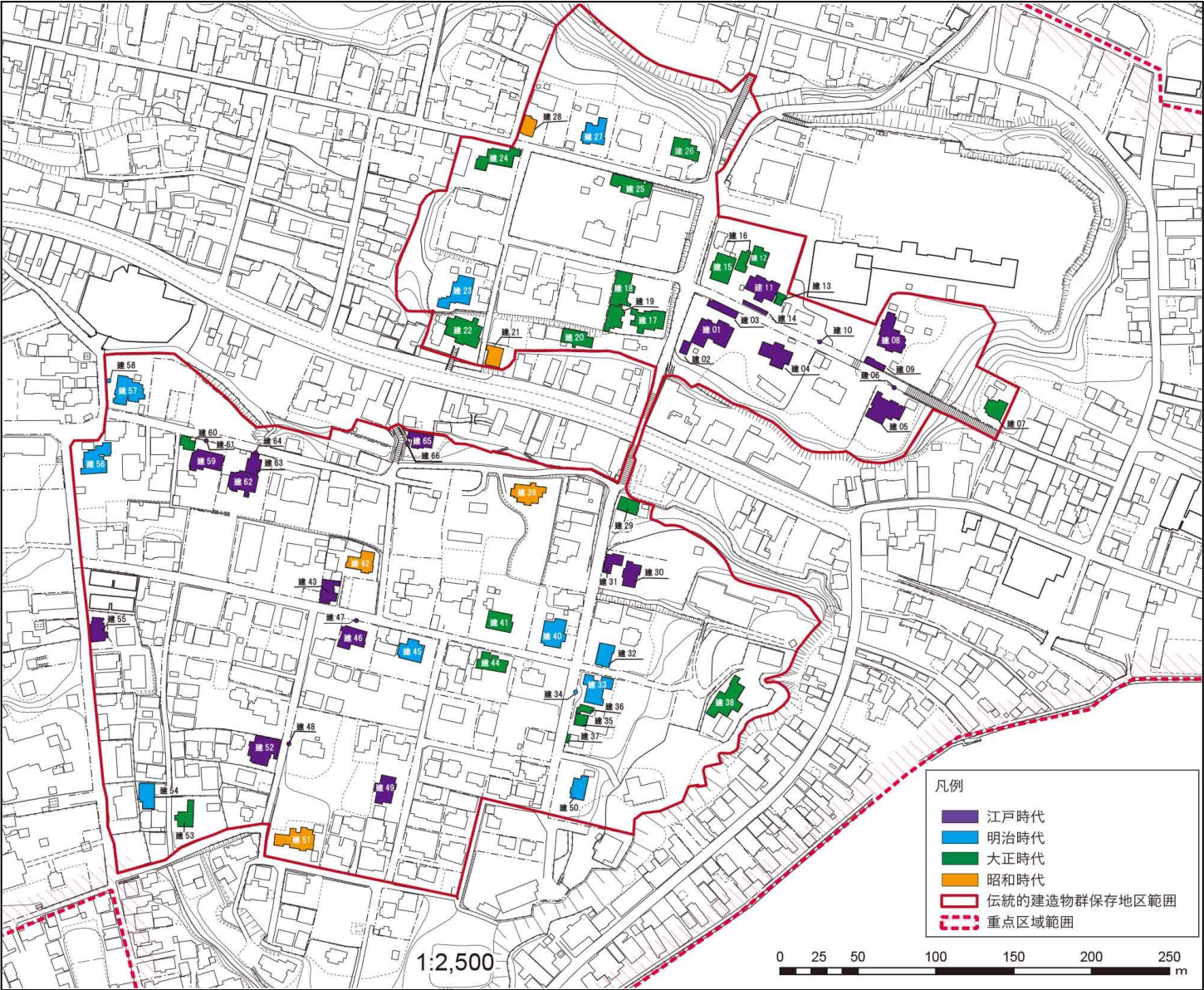
【届出が必要な行為と対象規模】

| 対象となる行為 | | 規模 | |
|-----------------------------------|--|---|------------|
| 建築物 | ○新築・増築・改築・移転 | ○高さ10m超のもの、又は述べ面積500㎡超のもの | |
| | ○外観を変更する修繕・模様替・色彩の変更で、当該変更に係る部分の面積が見付面積の1/2以上のもの | | |
| 工作物 | ○新築・増築・改築・移転 | a. 擁壁など | ○高さ5m超のもの |
| | ○外観を変更する修繕・模様替・色彩の変更で、当該変更に係る部分の面積が見付面積の1/2以上のもの | b. 塔状工作物 c. 遊戯施設 d. 製造施設・貯蔵施設・処理施設など | ○高さ10m超のもの |
| 開発行為、土石類の採取、宅地の造成 その他の土地の形質の変更 | | ○面積1,000㎡を超えかつ、のりの高さ2mを超えるもの | |
| 木竹の伐採 | | ○行為に係る土地の面積の合計が500㎡を超えるもの | |
| 屋外における土砂、廃棄物、再生資源等の 物件の集積又は貯蔵 | | ○面積1,000㎡を超えかつ、のりの高さ2mを超え、 かつ、集積等の期間が90日を超えるもの | |
| 外観照明の新設・改設 | | ○届出対象となる建築物・工作物の外観に設置する照明 | |

評価軸②-4
重点区域における良好な景観を形成する施策

| 項目 | | 評価対象年度 | 令和5年度 |
|---|---|----------------------------------|---|
| | | | 現在の状況 |
| 杵築市北台南台伝統的建造物群保存地区保存計画との連携 | | | <div><input type="checkbox"/>実施済</div> <div><input checked="" type="checkbox"/>実施中</div> <div><input type="checkbox"/>未着手</div> |
| 計画に記載している内容 | 城下重点区域の中心となる構成要素である杵築市北台南台伝統的建造物群保存地区は、現在に至るまで継承されてきた保存地区の「屋敷地割と町並み」、それらを彩る「天神祭りなどの文化遺産」、また構成する物件などによって形成される「歴史的風致」を守り伝えるため、行政が地域住民と協力しながら保存・整備を進めるとともに、地域全体の活性化と生活環境の向上、及び杵築市の文化的価値向上に資すること目的として取り組んでいく。 | | |
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で | | | |
| 令和5年度は、杵築市北台南台伝統的建造物群保存地区基盤強化事業を用い、特定物件となってい工作物の土塀復元(工11-1)について乾燥期間を延長した令和4年度繰越事業が終了した。また令和5年度実施予定であった土塀復元(52-1)については、施主都合により事業取止めとなった。 | | | |
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) | |
| <div><input checked="" type="checkbox"/>計画どおり進捗している</div> <div><input type="checkbox"/>計画どおり進捗していない</div> | | 令和6年度は、特定物件がある土地建物買上事業1件を予定している。 | |
| 状況を示す写真や資料等 | | | |

【杵築市北台南台伝統的建造物群保存地区の範囲】



評価軸②-5

重点区域における良好な景観を形成する施策

| 項目 | | 評価対象年度 | 令和5年度 |
|--|--|---|-------|
| | | 現在の状況 | |
| 大分県屋外広告物条例との連携 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |
| 計画に記載している内容 | <p>杵築市は良好な景観の形成や公衆に対する危害の防止の観点から屋外広告物法に基づき定められた「大分県屋外広告物条例」にしたがって屋外広告物の規制を行っており、城下重点区域内は大半が許可地域であるが、一部に禁止路線及び禁止地域が含まれる。</p> <p>杵築市歴史的風致維持向上計画の推進にあたっては、「大分県屋外広告物条例」による規制との整合を図った屋外広告物の誘導を行うことで、良好な景観の形成に取り組んでいく。</p> | | |
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で | | | |
| <p>「大分県屋外広告物条例」に基づき、屋外広告物の設置に対して許可申請を実施することで、適正な色彩、規模等へと規制・誘導を行った。</p> | | | |
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | <p>良好な景観の形成や公衆に対する危害の防止の観点から、今後とも「大分県屋外広告物条例」に基づき適切な規制・誘導を行っていく。</p> | | |
| 状況を示す写真や資料等 | | | |
| <p>【屋外広告物条例と重点区域の関係】</p> | | | |

評価軸③-1
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| 評価対象年度 | | 令和5年度 |
|---------------------|--|---|
| 項目 | | 現在の状況 |
| 重要伝統的建造物群保存地区保存整備事業 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |

| | |
|-------------|--|
| 事業期間 | 平成30年度～令和12年度 |
| 支援事業名 | 伝統的建造物群基盤強化事業費補助金、大分県文化財保存事業費補助金 |
| 計画に記載している内容 | 北台南台地区の伝建地区において、歴史的な建造物である特定物件の保存修理を進める。 |

| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で | |
|--|--|
| <p>令和5年度は、令和4年度繰越事業となっていた土塀修理(工11-1)を実施し、延長期間であった7月末日までに予定どおり完了した。また、同年度に復元修理を予定していた事業(工52-1土塀復元修理工事)については、施主都合により中止となった。</p> <p>①特定物件(工11-1)は、勘定場の坂中腹に隣接し、江戸期から続く旧家の武家屋敷がある。全長35mのうち、損害の激しい4.25mの復元修理を行った。痕跡調査の結果、瓦や石などの混ざりものがなく、土のみで築土する工法に変更となり、土の体積が増えたため乾燥期間を延長し、7月末に予定通り終了した。</p> <p>毎年、修理工事を実施しており、継続的に修理を行うことで杵築市北台南台(武家町)まちなみの景観向上につながっている。</p> | |
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 令和6年度も特定物件が建つ敷地の土地建物買い上げ事業を予定しており、杵築市北台南台(武家町)のまちなみを維持向上することができている。引き続き事業を進めていく。 |

状況を示す写真や資料等

【令和4年度 修理箇所位置図】



【① 土塀修理工事(工11-1)の様子】



修理前



修理後

評価軸③-2
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| 評価対象年度 | | 令和5年度 |
|-------------------|--|---|
| 項目 | | 現在の状況 |
| 歴史的風致形成建造物の保存対策事業 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |

| | |
|-------------|---|
| 事業期間 | 令和4年度～令和12年度 |
| 支援事業名 | 市単独 |
| 計画に記載している内容 | 伝建地区を除く重点区域全域において、歴史的風致形成建造物に指定した建造物の保存修理を実施する。 |

| | |
|--|--|
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で | |
| 歴史的風致形成建造物の候補となっている杵築城(ほか4件)の物件について、認定にあたって必要な調査等について調査及び情報収集を行った。 | |

| | |
|--|----------------------------------|
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 引き続き、風致形成建造物の認定及び保存対策に向けて調査を進める。 |

状況を示す写真や資料等

【歴史的風致形成建造物の候補】

| 番号 | 名称 所在地 | 写真 | 文化財 指定状況 | 所有者 | 築年 | 関連する 歴史的風致 | 番号 | 名称 所在地 | 写真 | 文化財 指定状況 | 所有者 | 築年 | 関連する 歴史的風致 |
|----|---------------|---|------------------------------|-----|--|------------------------|----|-----------|---|--------------|-------|--|------------------------|
| 1 | 杵築城 |  | — | 杵築市 | 昭和45年 (1970) | 城下町の 祭事にみる 歴史的風致 | 8 | 飛松天満社 |  | — | 飛松天満社 | 石灯籠: 元禄5年 (1692)～ 昭和2年 (1927) | 城下町の 祭事にみる 歴史的風致 |
| | 大字杵築 | | | | | | | 大字南杵築 | | | | | |
| 2 | 佐野家主屋 及び病棟 |  | — | 杵築市 | 主屋: 天明元年 (1781) 病棟: 大正15年 (1926) | 城下町の 祭事にみる 歴史的風致 | 9 | 東泉寺 |  | — | 東泉寺 | 石灯籠: 寛政3年 (1791) | 城下町の 祭事にみる 歴史的風致 |
| | 大字杵築 | | | | | | | 大字杵築 | | | | | |
| 3 | 旭 楼 |  | — | 個人 | 明治30年 (1897) | 城下町の 祭事にみる 歴史的風致 | 10 | 杵築神社 |  | — | 杵築神社 | 宮地嶽社: 明治29年 (1896) 石灯籠: 明治26年 (1983) 大正15年 (1926) | 城下町の 祭事にみる 歴史的風致 |
| | 大字杵築 | | | | | | | 大字杵築 | | | | | |
| 4 | とまや店舗兼 主屋 |  | 登録有形 文化財 | 個人 | 明治8年 (1875) | 城下町の 祭事にみる 歴史的風致 | 11 | 中野酒造酒蔵 |  | 市指定有形 文化財 | 個人 | 大正期 昭和期 | 城下の水利 にみる 歴史的風致 |
| | 大字杵築 | | | | | | | 大字南杵築 | | | | | |
| 5 | 綾部みそ屋 |  | 市指定有形 文化財 | 個人 | 主屋: 18世紀後半 東土蔵: 明治7年 (1874) 西土蔵: 明治18年 (1885) | 城下町の 祭事にみる 歴史的風致 | 12 | 中野庄屋屋敷 |  | 市指定有形 文化財 | 個人 | 文化年間 (1804～ 1818) | 城下の水利 にみる 歴史的風致 |
| | 大字杵築 | | | | | | | 大字南杵築 | | | | | |
| 6 | 御船手長屋 |  | — | 個人 | 昭和45年 (1970) 以前 | 城下町の 祭事にみる 歴史的風致 | 13 | 若宮八幡社 |  | — | 若宮八幡社 | 拜殿: 享保7年 (1722) 本殿: 17世紀末 | 城下の水利 にみる 歴史的風致 |
| | 大字杵築 | | | | | | | 大字宮司 | | | | | |
| 7 | 八坂社 |  | 県指定有形 文化財 (石造旧本 殿社) | 八坂社 | 鳥居: 大正9年 (1920) 石灯籠: 明治12年 (1879) | 城下町の 祭事にみる 歴史的風致 | | | | | | | |
| | 大字杵築 | | | | | | | | | | | | |

評価軸③-3
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| 項目 | 評価対象年度 | 令和5年度 |
|---------------|--------|--|
| 歴史的建造物腐朽等対策事業 | | 現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |

| | |
|-------------|--|
| 事業期間 | 令和4年度～令和12年度 |
| 支援事業名 | 市単独 |
| 計画に記載している内容 | 北台南台にある旧大原家住宅や旧田嶋家住宅といった歴史的な建造物の蟻害や雨漏り等の対策を行う。 |

| | |
|--|--|
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で | |
| 令和5年度は、旧田嶋家住宅の利活案を検討するため、官学連携事業を利用し、日本文理大学の学生が中心となって現地調査や市民アンケートをとって、報告書にまとめた。また、報告書の内容は、3月7日に関係部署職員に対し報告会を実施した。 | |

| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) |
|--|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 災害対策も含め引き続き、腐朽等対策に必要な各専門業者に意見を求め、歴史的建造物の修繕スケジュールを作成する。 |

状況を示す写真や資料等

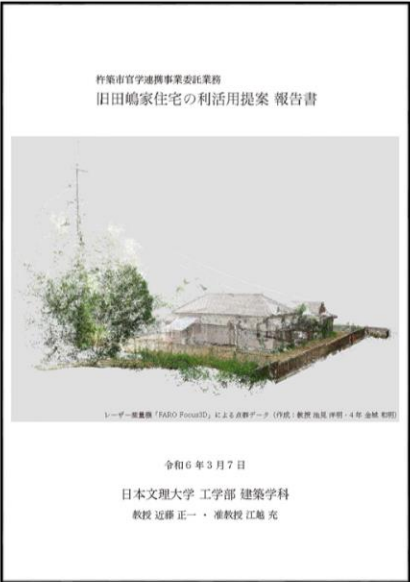
【日本文理大学による田嶋家調査の様子】



【日本文理大学活用】



【R5.3.12 大分合同新聞】



【旧田嶋家住宅の利活用提案報告書】

評価軸③-4
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| 評価対象年度 | | 令和5年度 |
|----------------|--|---|
| 項目 | | 現在の状況 |
| 歴史的建造物保存対策調査事業 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |

| | |
|-------------|--|
| 事業期間 | 令和4年度～令和12年度 |
| 支援事業名 | 市単独 |
| 計画に記載している内容 | 歴史的風致形成建造物の候補や、指定文化財の候補、登録文化財の候補となる建造物の実測調査等を行う。 |

| | |
|--|--|
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で | |
| 令和5年度は、昨年11月に大分県建築士会と結んだ包括的連携協定の中で、北台南台重要伝統的建造物群保存地区内の歴史的建造物の調査を行った。 | |

| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) |
|--|--------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 次年度も必要な物件に関して記録調査を行っていく。 |

| |
|-------------|
| 状況を示す写真や資料等 |
|-------------|

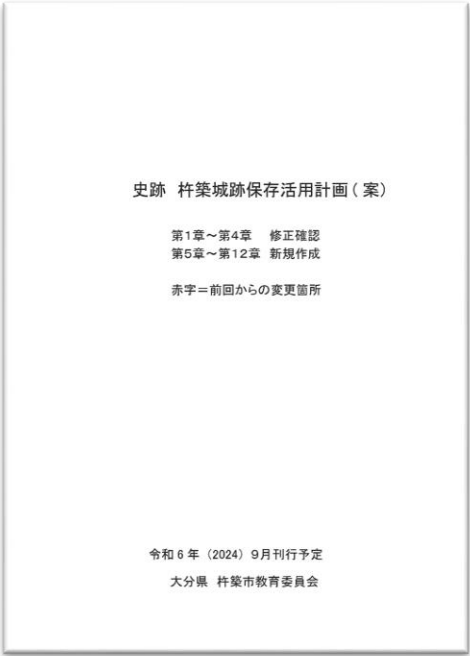
【歴史的建造物調査の様子】



評価軸③-5
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | |
|--|--|---|
| 評価対象年度 | | 令和5年度 |
| 項目 | | 現在の状況 |
| 史跡杵築城跡保存活用計画策定事業 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |
| 事業期間 | 令和4年度～令和12年度 | |
| 支援事業名 | 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金 | |
| 計画に記載している内容 | 令和2年(2020年)3月に国指定の史跡になった杵築城跡の適切な保存及び効果的な活用を行うための保存活用計画を策定する。 | |
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で | | |
| 令和4年6月に史跡杵築城保存活用計画策定委員会を発足し、これまで1章から4章までの内容作成等を実施してきた。令和5年度は、3月28日に第3回史跡保存活用計画策定委員会を開催し、1章～4章までの修正内容の確認、5章～12章まで内容について審議した。当初、令和4年からの2年間の計画策定を予定していたが、計画内容をより充実したものとするため検討を重ね、令和6年9月の完成を目指す。 | | |
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 全章の修正・検討を完了し、令和6年9月末の活用計画の作成完了し、国への申請を行い、認定を目指す。 | |
| 状況を示す写真や資料等 | | |

【第3回 杵築城跡保存活用計画策定委員会の様子】



評価軸③-6
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

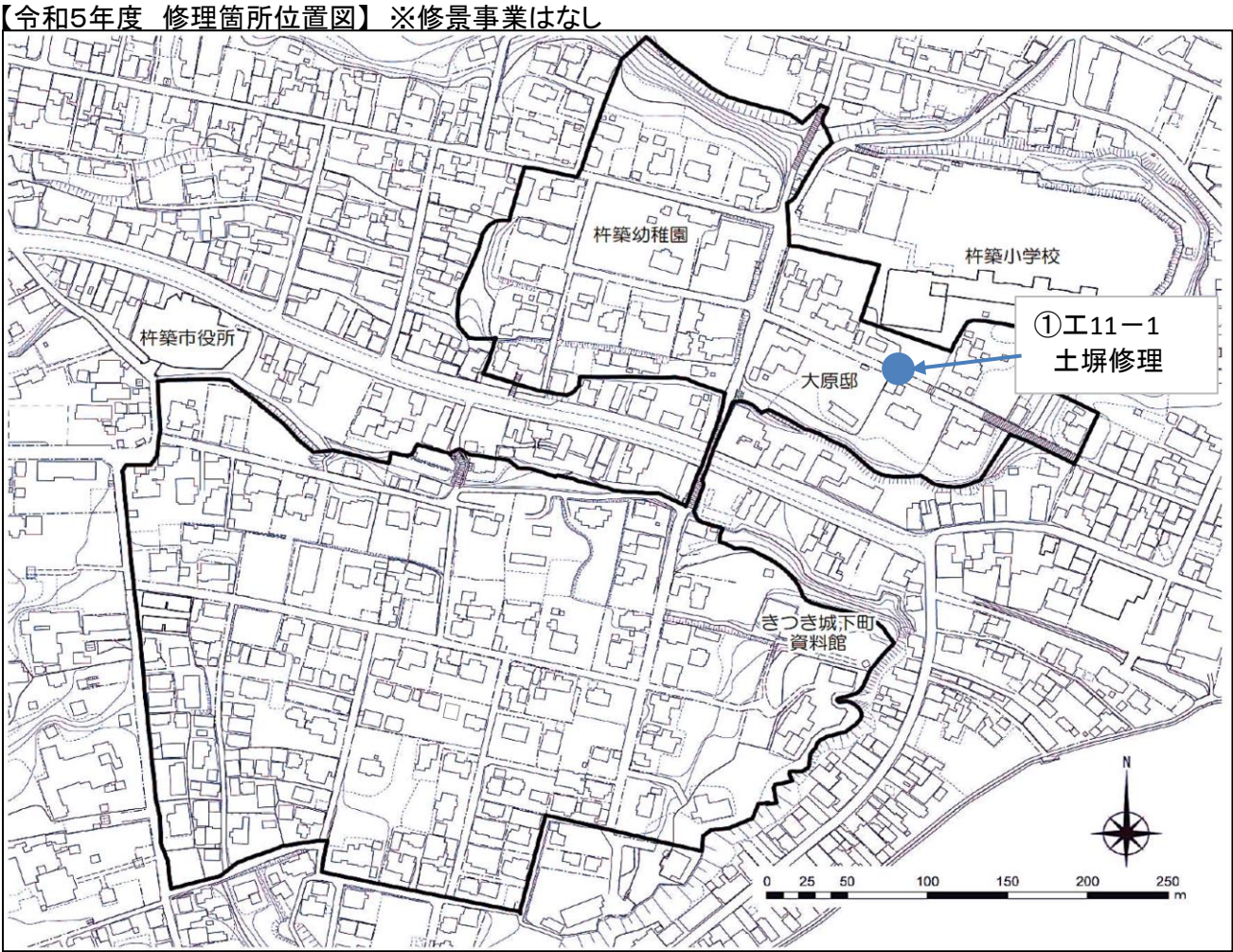
| 項目 | 評価対象年度 | 令和5年度 |
|--------------------|--------|---|
| | | 現在の状況 |
| 重要伝統的建造物群保存地区の修景事業 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |

| | |
|-------------|---|
| 事業期間 | 平成30年度～令和12年度 |
| 支援事業名 | 伝統的建造物群基盤強化事業費補助金、大分県文化財保存事業費補助金 |
| 計画に記載している内容 | 北台南台地区の伝建地区において、歴史的な建造物を取り巻く建築物等の修景による整備を進める。 |

| | |
|-------------------------------|--|
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で | |
| 令和5年度は、修理の要望のみで、修景事業の実施はなかった。 | |

| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) |
|--|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 令和6年度も修景要望はないが、より歴史的風致にそった修理基準での事業が予定されており、杵築市北台南台(武家町)のまちなみを維持向上することができている。引き続き事業を進めていく。 |

| |
|-------------|
| 状況を示す写真や資料等 |
|-------------|



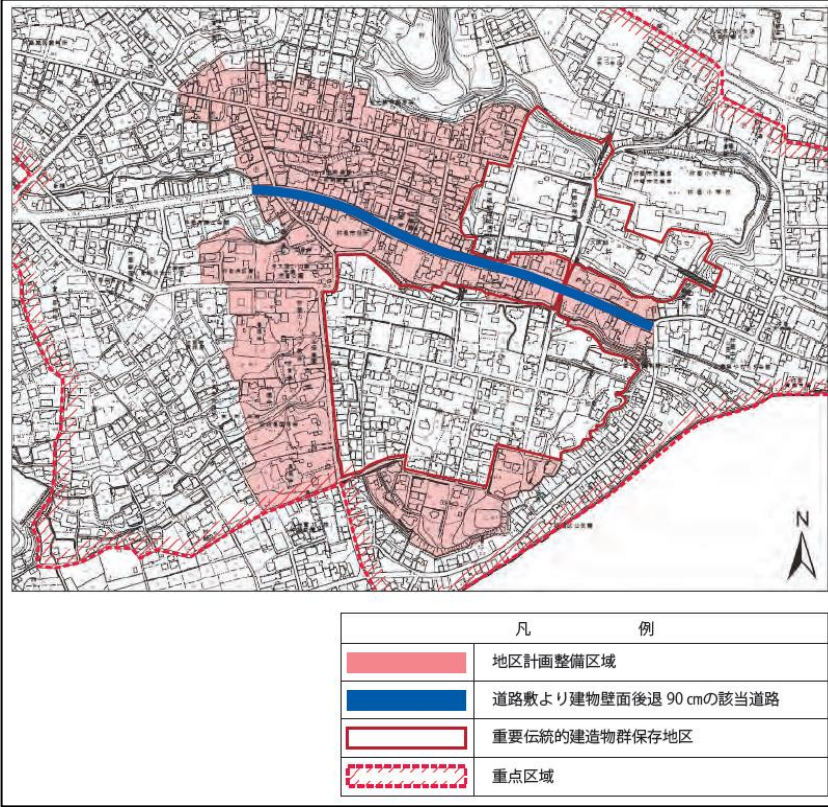
【① 工11-1の土塀修理工事】



評価軸③-7
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | | |
|---|---|---|-------|
| 項目 | | 評価対象年度 | 令和5年度 |
| 地区計画修景支援事業 | | 現在の状況 | |
| | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |
| 事業期間 | 平成21年度～令和7年度 | | |
| 支援事業名 | 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業) | | |
| 計画に記載している内容 | 杵築市城下町地区地区計画区域内に建築される建築物等の外観に関し、建築基準法に基づき、建築物の構造等の制限その他必要な措置を定めるとともに、杵築城下町にふさわしい景観を再生し、親しみと愛着の持てるまち並みづくりの保全を図る。 | | |
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で | | | |
| 杵築市城下町地区地区計画区域内にある建築物等の外観について、城下町の歴史的街並みと調和するように修景工事等を行った事業者に対して補助金の交付を実施した。 令和5年度は、住宅の新築2件に対して、合計2,500,000円の補助を行った。 | | | |
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | | 今後も計画に沿った事業推進を図る必要がある。 | |
| 状況を示す写真や資料等 | | | |

【杵築市城下町地区地区計画整備区域の位置】



【施工前】



【施工後】



【補助金交付基準】

| 補助対象物件 | 補助対象経費 | 補助率 | 補助限度額 |
|-------------------|--|-------|-------|
| 住 宅 及 び 店 舗 | 外観に係わる部分で、城下町の歴史的街並みと調和するように行う新築、増築及び改修による復元や保存に要する経費。 | 2/3以内 | 100万円 |
| 塀、車庫、付属構造物及び設備機器等 | 外観を城下町の歴史的街並みと調和するように行う新設、新築、増設、増築及び改修による復元や保存に要する経費。 | 2/3以内 | 50万円 |
| 屋 外 広 告 物 | 城下町の歴史的街並みと調和するように行う新築及び改修による復元や保存に要する経費。 | 2/3以内 | 30万円 |

【補助実績】

| 年 度 | 件 数 | 補助額 |
|--------|-----|-----------|
| 平成27年度 | 5 | 2,973,000 |
| 平成28年度 | 5 | 3,232,000 |
| 平成29年度 | 6 | 2,213,000 |
| 平成30年度 | 4 | 2,707,000 |
| 令和元年度 | 2 | 2,211,000 |
| 令和2年度 | - | - |
| 令和3年度 | 2 | 2,000,000 |
| 令和4年度 | 2 | 1,229,000 |
| 令和5年度 | 2 | 2,500,000 |

評価軸③-8
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | |
|--|---|---|
| 評価対象年度 | | 令和5年度 |
| 項目 | | 現在の状況 |
| 空家活用支援事業 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |
| 事業期間 | 平成29年度～令和12年度 | |
| 支援事業名 | 市単独 | |
| 計画に記載している内容 | 本市への移住を希望する者が、住居として空家を購入、若しくは賃貸し、入居に必要な改修等をした場合又は空家を所有する者が移住希望者への住居の提供を目的に入居に必要な改修等をした場合における空家改修費等補助金を交付する。 | |
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で | | |
| 空き家改修費等補助金実績(市外から転入者の利用実績) 平成30年度:15世帯33人、令和元年度:18世帯36人、令和2年度:12世帯22人、令和3年度:9世帯15人 令和4年度:22世帯32人、令和5年度:11世帯17人 | | |
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 地方への移住意識が高まっているが、すぐ住めるような状態の良い物件は少ない状況である。住民自治協議会に協力を求め、空き家物件の掘り起こしを推進する。 | |
| 状況を示す写真や資料等 | | |

【空家バンクの登録状況】

※最終更新日：令和6年3月31日時点

| | 空き家 登録数 (期首) | 新規 登録 | 成約件数(人数) | | | | 取消 | 年度末の件数 (登録数+新規-契約、取消) |
|--------|--------------------|----------|------------|------------|-----------|-----------|-----|--------------------------|
| | | | 総数 | 県外移住 | 県内移住 | 市内転居 | | |
| ～平成26年 | 44件 | 不明 | 32件(-人) | | | | 不明 | ⇒ 13件 |
| 平成27年 | 13件 | 27件 | 6件(13人) | 4件(13人) | 1件(2人) | 1件(2人) | 9件 | ⇒ 25件 |
| 平成28年 | 25件 | 51件 | 18件(43人) | 10件(28人) | 8件(15人) | 0件(0人) | 12件 | ⇒ 46件 |
| 平成29年 | 46件 | 41件 | 23件(56人) | 15件(37人) | 7件(17件) | 1件(2人) | 9件 | ⇒ 55件 |
| 平成30年 | 55件 | 51件 | 26件(53人) | 5件(9人) | 15件(33人) | 6件(11人) | 14件 | ⇒ 66件 |
| 令和元年 | 66件 | 44件 | 34件(83人) | 16件(35人) | 10件(24人) | 8件(24人) | 8件 | ⇒ 68件 |
| 令和2年 | 68件 | 55件 | 36件(72人) | 12件(26人) | 7件(15人) | 17件(31人) | 14件 | ⇒ 73件 |
| 令和3年 | 73件 | 45件 | 27件(61人) | 7件(13人) | 12件(26人) | 8件(22人) | 16件 | ⇒ 75件 |
| 令和4年 | 75件 | 39件 | 45件(91人) | 22件(36人) | 14件(33人) | 9件(22人) | 12件 | ⇒ 57件 |
| 令和5年 | 57件 | 63件 | 36件(74人) | 12件(22人) | 13件(24人) | 11件(28人) | 5件 | ⇒ 77件 |
| 計 | | 416件 | 283件(546人) | 103件(215人) | 87件(189人) | 61件(142人) | 99件 | |

《 空家バンク登録物件 》



空家バンク登録物件①



空家バンク登録物件②

評価軸③-9
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| 評価対象年度 | | 令和5年度 |
|---|---|---|
| 項目 | | 現在の状況 |
| 伝統文化記録調査事業 | | <div><input type="checkbox"/>実施済</div> <div><input checked="" type="checkbox"/>実施中</div> <div><input type="checkbox"/>未着手</div> |
| 事業期間 | 令和4年度～令和12年度 | |
| 支援事業名 | 市単独 | |
| 計画に記載している内容 | 地域で受け継がれている祭事等(指定文化財又は未指定文化財)について、必要に応じて学識経験者等の指導・助言を得ながら記録調査を行い、報告書等を作成する。 | |
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で | | |
| 令和5年度は、市町村の課題解決事業を利用して、別府大学民俗学研究室と一緒に大田地域の波多方地区・俣水地区の民俗調査を実施した。研究室が主体となり、調査成果を報告書にまとめ、3月20日には大田中央公民館にて地元への調査報告会を実施した。 | | |
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) | |
| <div><input checked="" type="checkbox"/>計画どおり進捗している</div> <div><input type="checkbox"/>計画どおり進捗していない</div> | 令和6年度は、官学連携事業を継続し、別府大学民俗学研究室とともに大田地域の田原地区や杵築地域の年田地区の民俗調査を行う予定である。 | |
| 状況を示す写真や資料等 | | |

【令和5年度 別府大学民俗学研修室による調査の様子】



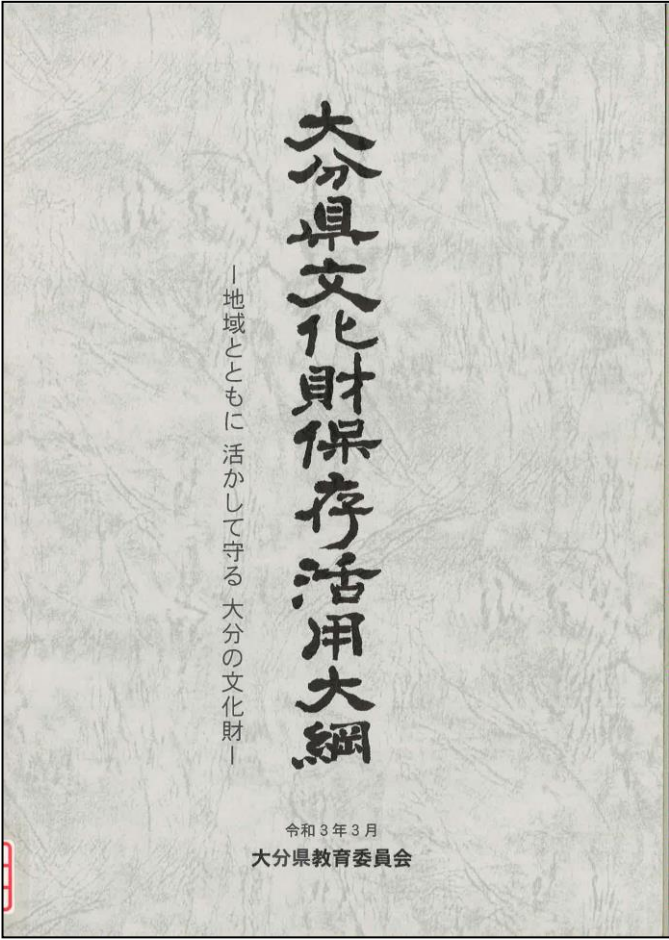
【R5.8.25 大分合同新聞】




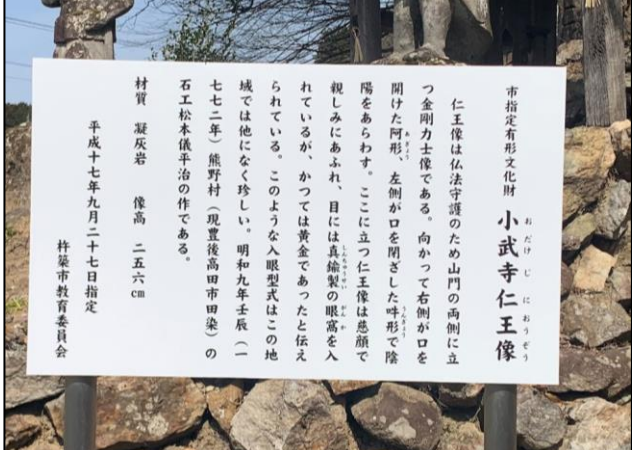


【R5.3.27 大分合同新聞】

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | | |
|---|--|---|-------|
| | | 評価対象年度 | 令和5年度 |
| 項目 | | 現在の状況 | |
| 文化財保存活用地域計画作成事業 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |
| 事業期間 | 令和4年度～令和6年度 | | |
| 支援事業名 | 市単独 | | |
| 計画に記載している内容 | 杵築市の歴史的文化的な資源の保存・活用に関して将来的なビジョンや具体的な事業等の実施計画を定めるため、文化財全般にわたる調査や台帳整備が必要である。 文化財保存活用地域計画を作成し、杵築市の歴史文化の振興及び地域活性化を推進する。 | | |
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で | | | |
| 大分県が主催・実施した研修に参加し、必要な調査等についての情報収集を行った。 | | | |
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | | 令和6年度に作成のための人員を配置し、具体的な情報収集を進め、さらに検討委員会の設置を行う予定。 | |
| 状況を示す写真や資料等 | | | |
| <p>【大分県文化財保存活用大綱 令和3年3月発行】</p>  | | | |

| 評価対象年度 | | 令和5年度 |
|---|---|---|
| 項目 | | 現在の状況 |
| 文化財案内板等整備事業 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |
| 事業期間 | 令和4年度～令和12年度 | |
| 支援事業名 | 市単独 | |
| 計画に記載している内容 | 多言語に対応した文化財を解説する案内板のほか、来訪者向けの誘導サイン及びマナーを周知する案内板等の設置を行う。 | |
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で | | |
| 令和5年度も昨年に引き続き、国・県指定文化財の確認に合わせて看板の状況確認を行った。劣化状況等を確認し、修理が必要なもののリスト作成中である。 | | |
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 今後も文化財看板の現状把握調査を実施し、整備を進めていく。 | |
| 状況を示す写真や資料等 | | |
| <p>【令和4年度に整備をした看板】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>→</p>  </div> <div style="text-align: center;">  <p>→</p>  </div> </div> | | |

| 評価対象年度 | | 令和5年度 |
|---|---|---|
| 項目 | | 現在の状況 |
| 歴史資料収蔵庫整備事業 | | <div><input type="checkbox"/>実施済</div> <div><input type="checkbox"/>実施中</div> <div><input checked="" type="checkbox"/>未着手</div> |
| 事業期間 | 令和8年度～令和12年度 | |
| 支援事業名 | 市単独 | |
| 計画に記載している内容 | 本事業では、伝建地区内にある、きつき城下町資料館において杵築市の歴史資料を保管する収蔵場所の整備を行い、資料の一般公開と併せ適正な保管や調査・研究を行う。 | |
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で | | |
| 令和5年度は、きつき城下町資料館収蔵庫内のおよそ3割を占める杵築の歌舞伎衣装の調査を行い、種別の確認や目録の再整理を行った。またこれらの整理情報と学識経験者の指導により、市有形民俗文化財への申請を行い、2月29日に指定された。 | | |
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) | |
| <div><input checked="" type="checkbox"/>計画どおり進捗している</div> <div><input type="checkbox"/>計画どおり進捗していない</div> | 引き続き、資料館内外に保管されている資料の状況確認を行い、収蔵庫整備に向けた情報収集を行う。 | |
| 状況を示す写真や資料等 | | |

杵築の歌舞伎衣装の総数は422点で、その内訳は着物類が290点で、小物類が132点であった。本資料の多くは近代のもので、市内で活動していた播磨屋座の衣装類がまとまって保管されている。

【歌舞伎衣装の確認作業】



【展示公開されている歌舞伎衣装】



評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

| 評価対象年度 | | 令和5年度 |
|---|--|---|
| 項目 | | 現在の状況 |
| 文化財の保存又は活用に関する事項 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |
| 計画に記載している内容 | 歴史的な建造物や、歴史や伝統を反映した人々の活動などの文化財の調査を計画的に推進し、記録作成や指定・登録等の制度の活用等による適切な保護を図る。また文化財保護法に基づく「文化財保存活用地域計画」の作成や、指定等文化財については、必要に応じて個別に「保存活用計画」を作成し、適切な保存活用に取り組んでいく。 | |
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で | | |
| 令和5年度は、大分県文化財保護指導員や杵築市文化財調査委員による市内指定文化財パトロールに同行し、文化財の状況確認を行った。 また、国の登録有形文化財の答申1件、県指定有形文化財1件、市指定文化財1件が追加予定である。令和4年度に歴史的建造物保存対策調査事業で調査を行った杵築市山香町にある「旧志手家住宅(カテリーナ古楽器研究所)主屋」を国の登録有形文化財に申請し、令和6年3月15日開催の文化庁文化審議会文化財文化会にて答申がなされた。さらに当市の文化財諮問機関である文化財調査委員会にて指定に関する審議を7月1日に開催し、新たに市指定有形民俗文化財として杵築の歌舞伎衣装が新たに答申を受けた。 | | |
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 次年度も「文化財保存活用地域計画」の作成も視野にいて未指定を含む文化財の調査を実施していく予定である。 | |
| 状況を示す写真や資料等 | | |
| <div> <div> <p>1. 文化財パトロール</p> <p>年間2回以上、国指定の文化財を中心にパトロールを行い、その際に近隣にある県指定・市指定の文化財の状況も一緒に確認を行っている。</p> </div> <div>  <p>【文化財パトロールの様子】</p> </div> </div> <div> <div> <p>2. 登録有形文化財の答申</p> <p>令和4年度に調査を実施した旧志手家住宅(カテリーナ古楽器研究所)主屋を国の登録有形文化財に申請し、令和6年3月15日に文化審議会より答申を受けた。今後、官報告示を得て、正式に登録となる。 杵築市での登録有形文化財は2件目。山香地域では初めての登録有形文化財である。</p> </div> <div>  <p>【R5.3.16 大分合同新聞】</p> </div> </div> <div> <div> <p>3. 令和5年度新指定文化財</p> <p>令和5年2月に、杵築の歌舞伎衣装422点が有形民俗文化財指定を受けた。</p> </div> <div>  <p>【指定された杵築の歌舞伎衣装】</p> </div> </div> | | |

評価軸④-2
文化財の保存又は活用に関する事項

| 項目 | 評価対象年度 | 令和5年度 |
|------------------|--------|---|
| | | 現在の状況 |
| 文化財の修理(整備)に関する事項 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |

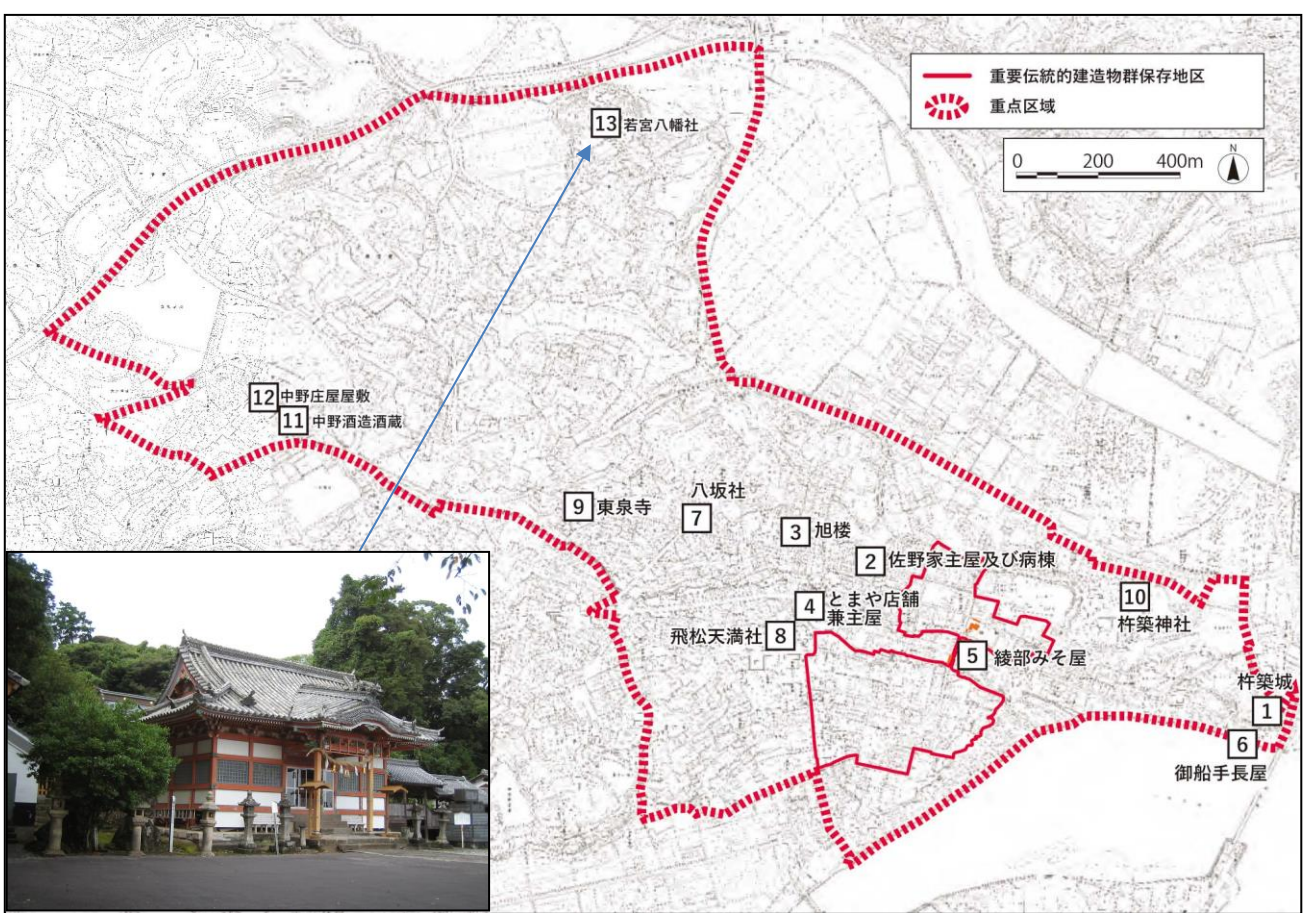
計画に記載している内容 城下重点区域内で、歴史的風致を形成している歴史的建造物の修理を行うことで、良好な市街地環境の形成につながり、城下に息づく人々の営みににみる歴史的風致の維持及び向上に寄与する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

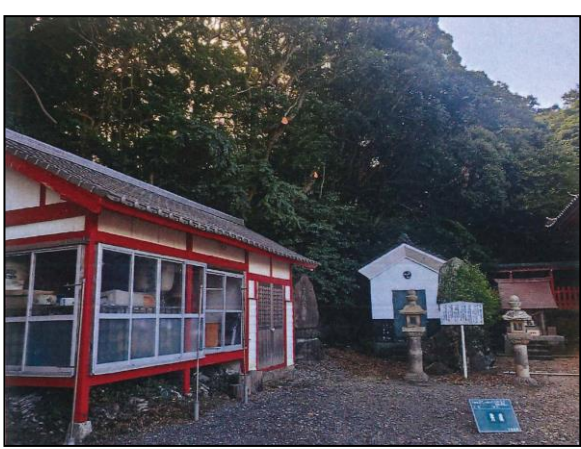
令和5年度は、昨年度に引き続き、県指定天然記念物である若宮八幡社の境内林の中で、成長が進み、建造物に被害を与える樹木の中で、宝物殿周辺の剪定を実施した。

| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) |
|--|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 県指定天然記念物と風致形成建造物候補である若宮八幡社本殿の双方を未来に残すべき文化財として引き続き維持管理をしていく。 |

状況を示す写真や資料等



【剪定前】



【修繕後】

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

| 項目 | | 評価対象年度 | 令和5年度 | | | |
|--|---|--|---|--|--|--|
| | | | 現在の状況 | | | |
| 文化財の保存・活用を行うための施設に関する事項 | | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | | | |
| 計画に記載している内容 | 収蔵施設としては集約化を含めた施設整備を検討し、防災対策や保存に適した設備の充足を図る。展示施設としては各施設に応じた展示内容の充実、ユニバーサルデザインに配慮した設備の充足を図る。 | | | | | |
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で | | | | | | |
| 令和5年度は、収蔵庫整備に向けて、城下町資料館内の整理作業を行い、学識経験者の指導を受けた。 | | | | | | |
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) | | | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | | 引き続き、資料館内外に保管されている資料の状況確認を行い、収蔵庫整備に向けた情報収集を行う。 | | | | |
| 状況を示す写真や資料等 | | | | | | |

杵築の歌舞伎衣装の総数は422点で、その内訳は着物類が290点で、小物類が132点であった。本資料の多くは近代のもので、市内で活動していた播磨屋座の衣装類がまとまって保管されている。

【歌舞伎衣装の確認作業】



【展示公開されている歌舞伎衣装】



評価軸④-4




文化財の保存又は活用に関する事項

| 評価対象年度 | | 令和5年度 |
|--|--|---|
| 項目 | | 現在の状況 |
| 文化財の周辺環境の保全に関する事項 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |
| 計画に記載している内容 | 伝建地区内や地区計画区域内では修景が進みつつあるものの、未だ十分ではないことから今後も伝建地区や地区計画と連携して、継続的に修景の支援に取り組んでいく。空き家については周辺環境との調和が図られるよう、活用を支援していく。 | |
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で | | |
| 令和5年度は、日本文理大学の調査研究に協力し、杵築城下町の夜間照明に関する実証実験を行った。実証実験の前提として行われた観光客及び住民に対する夜間街路に関するアンケートでは、特に北台・南台の武家屋敷周辺では、街路照明が少なく、歩く際の不安感を感じるという意見が多く見られた。実証実験の結果、武家屋敷の景観にあった夜間照明は、電球色で手に届く高さの照明を不均一に配置するのが最も安心感が得られるという結果になった。 | | |
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 空き家等は景観や防災、防犯面を考慮し、景観と調査した改修による活用の支援を講じながら次年度も引き続き計画を実施していく予定である。 | |
| 状況を示す写真や資料等 | | |
| 【北台家老丁筋での実証実験の様子】(報告書より抜粋) | | |
|  | | ※ 安心感が得られる方 |
| 昼白色 |  | |
| | 電球色 | |
|  | | 手が届く位置にある |
| 手が届かない位置にある |  | |
| | 高さ・距離が均一 | |
| 高さ・距離が均一 |  | |
| | 高さ・距離が不均一 | |

| | |
|---|--|
| 評価軸④-5 文化財の保存又は活用に関する事項 | |
| 項目 | 評価対象年度 令和5年度 |
| 文化財の防災に関する事項 | 現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |
| 計画に記載している内容 | 文化財の保存・活用に係る施設については自動火災報知器や消火設備等の防火設備、耐震設備及び防犯カメラ等の防犯設備の設置を充実させていく。さらに、防災意識の定着を図るため、防災訓練等に継続的に取り組んでいく。 |
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で | |
| 令和5年度は、文化財防火デーの一環である住民と合同で行う防火訓練を実施した。本年は、杵築市山香町にある延隆寺にて、模擬文化財を使用しての文化財搬出訓練や初期消火訓練を実施した。 | |
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 次年度も引き続き計画し、感染防止対策を徹底し、実施していく予定である。 |
| 状況を示す写真や資料等 | |
| 【延隆寺での消防訓練の様子】 | |
| <div></div> <div></div> | |
| <div><div><p>【杵築】杵築市山香町立石の延隆寺で21日、日出藩から分かれた立石領の初代領主、木下延由(1614〜58年)が書写した法華経の公開開帳が行われた。市指定有形文化財。同日に実施した防火訓練に合わせて公開した。同寺の建立時、延由が母を思い、法華経の一部、約6万9千字を書写したという。延由は、一説では大坂夏の陣に敗れた豊臣秀頼の庶子、国松(史実では刑死)と伝えられる。2020年には兵庫県の愛好家が日出町教団に、延由が所蔵したとみられる刀を寄託した。同所の西口鶴子(さん82)は「素晴らしい筆致、じっくり拝見できました」と話していた。(藤内賢治)</p></div><div><p>立石領主が書写した法華経(市指定文化財)を見学する参拝者</p></div></div> | |
| 【大分合同新聞(R6.1.24)】 | |

評価軸④-6

文化財の保存又は活用に関する事項

| 評価対象年度 | | 令和5年度 |
|---|--|---|
| 項目 | | 現在の状況 |
| 文化財の保存及び活用の普及・啓発に関する事項 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |
| 計画に記載している内容 | 杵築市観光協会やボランティアガイド等と連携し、新たなガイドルートの検討や文化財に関する案内版、誘導サインの設置に取り組む。またきつき城下町資料館を拠点として、市民や来訪者が楽しみながら、文化財への関心を育めるような展示やイベント等に取り組んでいく。 | |
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で | | |
| 令和5年度は、感染防止対策を行いながらもコロナ前と同じような状況で「古文書初心者講座」を全10回開催することができた。また子ども探検隊も回数を増やし実施した。また副読本『きつきの歴史・文化財なるほど！ブック』を増刷しおよそ200部を市内の小学校の新4年生に配布した。 | | |
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 次年度も講座およびガイド事業を計画し、感染防止対策を徹底し、実施していく予定である。また副読本も新4年生に配布する予定である。 | |
| 状況を示す写真や資料等 | | |
| <div> <div> <p>1 古文書初心者講座</p> <p>(1) 回数：全10回(6月から3月の第3土曜日)</p> <p>(2) 場所：きつき生涯学習館</p> <p>(3) 参加者：26名</p> <p>(4) 内容：「杵築城下町町役所文書」(通称町役所日記)の解読・判読</p> </div> <div>  <p>古文書初心者講座の様子</p> </div> </div> <div> <div> <p>2 子ども歴史探検隊事業</p> <p>(1) 回数：全5回(6・8・10・11・12月に各1回)</p> <p>(2) 場所：市内全域</p> <p>(3) 参加者：52名(全回数合計人数)</p> <p>(4) 内容：城下町探検、昔話、消しゴムハンコとオリジナル色紙制作、古代史探検と勾玉づくり、しめ飾り制作</p> </div> <div>  <p>城下町探検</p> </div> </div> <div> <div> <p>3 副読本『きつきの歴史・文化財なるほど！ブック』</p> <p>(1) 配布先</p> <p>杵築小学校、八坂小学校、大内小学校、護江小学校、豊洋小学校、東小学校、北杵築小学校、山香小学校、立石小学校、大田小学校の小学4年生</p> </div> <div>  <p>『きつきの歴史・文化財なるほど！ブック』</p> </div> </div> | | |

| | |
|--|---|
| 評価軸④-7 文化財の保存又は活用に関する事項 | |
| | 評価対象年度 令和5年度 |
| 項目 | 現在の状況 |
| 埋蔵文化財の取扱いに関する事項 | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |
| 計画に記載している内容 | 重点区域内の周知の埋蔵文化財包蔵地については、貴重な遺跡として保護に努めていく。 |
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で | |
| 令和5年度は、重点区域内の開発行為に伴う申請件数16件に対し、発掘調査7件、工事立会6件を行った。 また施主都合により申請件数の内、3件が未実施となっている。 | |
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 次年度も引き続き埋蔵文化財の適切な保護措置を図っていく。 |
| 状況を示す写真や資料等 | |
| <p>【発掘調査の様子】</p>   | |

評価軸④-8

文化財の保存又は活用に関する事項

| | | 評価対象年度 | 令和5年度 |
|--|--|---|-------|
| 項目 | | 現在の状況 | |
| 教育委員会等の体制に関する事項 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |
| 計画に記載している内容 | 文化・スポーツ振興課、企画財政課に加え、商工観光課、農林水産課との分野横断的な連携体制を整えていく。 | | |
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で | | | |
| 令和5年度は、商工観光課事業「令和5年度 持続可能性を核とした日本ならではの世界的価値の創出事業～杵築市における地域観光資源のサスティナブルな活用推進～」を実施し、企画財政課と文化・スポーツ振興課が連携した。現存する古民家の歴史的資源や海・山の豊富な食材を活用した体験型・滞在型のコンテンツの開発と磨き上げ、城下町に点在する空き家となった古民家の活用方法を見出し、活用資源として永続的に残していくための仕組みの検討を行い、モニターツアーを実施した。 | | | |
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | | 引き続き、連携体制の充足を図っていく。 | |
| 状況を示す写真や資料等 | | | |

令和5年度 持続可能性を核とした日本ならではの世界的価値の創出事業 ～杵築市における地域観光資源のサステナブルな活用推進～

実施地域における背景・概要

大分県杵築市は、重要伝統的建造物群保存地区に選定された北台南台武家屋敷や、国指定の史跡「杵築城址」など江戸時代の趣が色濃く残る地域であるが、一方で、古民家の空き家が多く、観光資源として活用できていないという現状がある。そこで本事業では、古民家等の歴史的資源や、海・山の食材、伝統素材を活用した体験型・滞在型コンテンツの造成や、永続的に残していくための仕組みの検討を行い、杵築独自の持続可能な観光地づくりの実現を図る。

事業概要

- 地域 / 大分県杵築市 ■ 連携団体 / 杵築市、杵築市観光協会、豊の国千年ロマン観光圏
- テーマ / 空き家の古民家や地元食材、伝統素材などの地域資源を活用したコンテンツ造成
- コンテンツカテゴリ / 資源: 古民家等の歴史的建築物、海・山の食材、このエリアならではの伝統素材
場所: 杵築市 城下町エリア、奈多海岸エリア
内容: 着物体験、七島閣ワークショップ、お点前(お茶)体験、古民家宿泊 …など
- 実施期間 / 令和5年10月11日～令和6年3月22日
- ターゲット / 外国人旅行者(台湾、欧米豪)、国内旅行者(年配夫婦、ファミリー)
- 事業内容 /

I. サステナブルな観光コンテンツ造成に関する調査

- ① 観光資源調査: サステナブルツーリズムに適した古民家等の現状把握・課題等の整理
- ② マーケティング調査: 来訪目的やコンテンツのニーズ等を調査・分析し、持続可能な仕組みや戦略の検討

II. サステナブルな観光コンテンツの造成

「I」の調査結果を踏まえて、城下町における古民家等の歴史的資源や、海・山の豊富な食材などの観光資源を後世に残していくための観光コンテンツの開発及び既存コンテンツの磨き上げ

- ① 検討会の開催(計4回開催)
- ② モニター施設の設置・運営(5施設利用)
- ③ モニターツアー(1泊2日/2回)

III. 外国人旅行者へのサービス向上に向けた取り組み

インバウンド観光客が快適に周遊・滞在できる受け入れ環境の整備を行う。

- ① 検討会の開催(計3回開催)
- ② インバウンドに関する研修の実施(計2回開催)
- ③ 案内ツール制作の検討
- ④ 外国語ガイドの募集及び育成(計2回開催)

事業成果

地域資源調査やマーケティング調査、モニターツアーを経て、古民家や地元食材などの地域資源の活用の方策を見出すことができた。また、基盤となる杵築独自の良さや魅力を感じられるコンテンツ造成を行い、自走化するための仕組みや販路形成など、コンテンツやツアー販売に向けてのプロセスが明確になった。今後の杵築市における、観光資源としての古民家の利活用や地域の観光計画への策定に寄与することができた。

設定KPI 効果検証方法

【設定KPI】コンテンツ造成数2件以上、コース造成数1件以上(1泊2日のコースを1件とする)
 【達成状況/検証結果等】コンテンツ造成数10件、コース造成数2件

次年度以降の取組

- ・造成コンテンツの磨き上げ
- ・販売体制の構築
- ・杵築市の観光振興計画への落とし込み
- ・各コンテンツ運営のスタッフ募集・育成
- ・日本語及び外国語ガイドの募集・育成
- ・二次交通利用促進の整備
- ・商材制作(タリフ・WEBサイト…など)
- ・広告宣伝(WEB・SNSなど)
- ・旅行会社との商談会

【文化公開施設[佐野家]でのモニターツアーの様子】



評価軸④-9

文化財の保存又は活用に関する事項

| 評価対象年度 | | 令和5年度 |
|---|--|---|
| 項目 | | 現在の状況 |
| 各種団体の体制整備に関する事項 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |
| 計画に記載している内容 | 文化財の保存・活用に関する活動を行う主な団体に対し、効果的な情報や活動の発表機会の提供、広域的な情報発信、団体相互の交流促進に取組み、団体の活動の活性化を図る。 | |
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で | | |
| 令和6年3月26日の北台南台伝建保存会設立準備委員会を経て、重要伝統的建造物群保存地区に選定されたことを活かし、地域住民と市が協力し歴史的町並みを保存、次世代へ継承すること目的とした地区住民による保存会を結成した。 | | |
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 引き続き、文化財の保存・活用に関する各種団体の活動の活性化を図る。 | |
| 状況を示す写真や資料等 | | |

【北台南台伝建保存会設立準備委員会様子】



第2回 北台南台伝建保存会設立準備委員会

(北台南台伝建保存会設立に向けた打合せ会)


 杵築市教育委員会
 文化・スポーツ振興課

次 第

1. 開会
2. 教育長挨拶
3. 保存会に関する審議について
4. 北台南台伝建保存会設立について
5. 報告事項
6. 閉会

令和6年3月26日 開催

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

| 報道等タイトル | | 評価対象年度 | 令和5年度 |
|--|------------|--------|-------|
| 報道等タイトル | 年月日 | 掲載紙等 | |
| 城下町の風情満喫して 5日「きつきお城まつり」 | 令和5年4月30日 | 大分合同新聞 | |
| 杵築市の魅力発信へ子ども歴史ガイドと探検隊募集 | 令和5年5月16日 | 大分合同新聞 | |
| 杵築市で「三浦梅園と杵築藩」展 生誕300周年、功績を振り返る | 令和5年5月18日 | 大分合同新聞 | |
| きつき子ども歴史探検隊が城下町を見学 開講式に20人が出席 | 令和5年6月24日 | 大分合同新聞 | |
| 7月1日、杵築市の野上家で「きつき夜楽」 ライトアップや屋台も | 令和5年6月29日 | 大分合同新聞 | |
| 杵築市の野上家で「きつき夜楽」 屋台や抽選会楽しむ | 令和5年7月3日 | 大分合同新聞 | |
| 22日に杵築市城下町で夜市 音楽ライブやゲームコーナーも | 令和5年7月21日 | 大分合同新聞 | |
| 城下町に夏本番 杵築 あす 25日「天神祭り」 | 令和5年7月23日 | 大分合同新聞 | |
| 杵築市で天神祭り、みこしや山車が城下町を練り歩く | 令和5年7月26日 | 大分合同新聞 | |
| 天文学者・麻田剛立の業績学んで 杵築市の横岳自然公園で26日から宿泊イベント | 令和5年8月19日 | 大分合同新聞 | |
| 杵築城ライトアップや出店、30日に「秋のきつき夜楽」 | 令和5年9月29日 | 大分合同新聞 | |
| 「甘くて出来良し」どぶろく祭り 杵築市の白鬚田原神社で始まる | 令和5年10月17日 | 大分合同新聞 | |
| 28日に杵築市で観月祭 茶会や音楽イベントも | 令和5年10月27日 | 大分合同新聞 | |
| 杵築市の若宮八幡社で例大祭 | 令和5年12月8日 | 大分合同新聞 | |
| 杵築市で子ども歴史探検隊の最終講義と閉講式 しめ飾りに挑戦、活動の振り返りも | 令和5年12月20日 | 大分合同新聞 | |
| 城下町に春の訪れ告げる「ひなめぐり」 杵築市と日出町で10日から | 令和6年2月7日 | 大分合同新聞 | |
| 杵築市の城下町、文理大生が活用アイデア 杵築市役所で報告会 | 令和6年3月8日 | 大分合同新聞 | |
| 別府大生、杵築市大田地域で民俗調査報告会 | 令和6年3月25日 | 大分合同新聞 | |

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

重点区域内の建造物やまちなみを活用したイベントを伝える新聞記事

| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) |
|---|--------------------------|
| <input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし | |

状況を示す写真や資料等



【大分合同新聞(R5.4.30)】



【大分合同新聞(R5.7.23)】

重点地区内の歴史的まちなみ景観への全国的注目と活用について

計画に記載
している内容

城下町のみならず、重点区域一帯で文化財に関する普及・啓発に取り組んでいく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

コロナ禍の影響はありつつも、季節ごとのイベントも再開され、春のひいなめぐり、秋の観月祭といったイベントが通常開催され、野上邸を活用したきつき夜楽も定着しつつある。また大原邸や中根邸といった文化施設は、これまで通り、各流派による茶道の会場や婚礼の前撮り、コスプレ会場に利用されており、文化施設の貸出は、令和5年度も県内在住者を中心に45回であった。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画の進捗に影響あり

■計画の進捗に影響なし

引き続き、城下町のみならず、重点区域一帯で文化財に関する普及・啓発に取り組んでいく。

状況を示す写真や資料等

【通常開催された秋の観月祭と春のひいなめぐり】



【大分合同新聞(R5.10.27)】



【大分合同新聞(R6.2.7)】

【野上邸を活用した夏と秋の夜楽】



【大分合同新聞(R5.6.29)】



【大分合同新聞(R5.9.23)】

| | |
|---|-------|
| 評価対象年度 | 令和5年度 |
| ・法定協議会等におけるコメント | |
| コメントが出された会議等の名称 : 杵築市歴史的風致維持向上協議会 | |
| 会議等の開催日時 : 令和6年5月15日(水) 14:00～ | |
| <p>(コメントの概要)</p> <p>1)評価軸③－10 文化財保存地域計画作成事業 文化財保存地域計画というのは、他計画の上位にあたるものなのか、それとも他計画と整合性を持たせたものになるのか。</p> <p>2)評価軸③－11 文化財案内版等整備事業 劣化した文化財看板を整備することは良いことだが、あわせて文化財がある場所までの案内板も整備した方がよい。</p> <p>3)評価軸③－12 歴史資料整備事業 すでに整理作業を実施しているが、現在の状況が未着手としているのはどうか。</p> <p>4)評価軸④－6 文化財の保存及び活用の普及・啓発に関する事項 子ども歴史探検隊事業など体験活動の中で、大分県文化課が作成した「文化財ウォーキングマップ」も活用してほしい。</p> <p>5)評価軸④－8 教育委員会等の体制に関する事項 今回、連携して行われた地域観光資源のサステナブルな活用推進事業について、今後の具体的な動きはあるか。</p> <p>6)歴史的風致維持向上計画の全体を通して 本計画の施策をすすめるために、今回行った大学連携事業や観光部局と連携した体験型の事業は、杵築市に愛着をもってもらうためにとても重要だと思う。今後もこのような機会を増やして計画を進めてもらいたい。</p> | |
| <p>(今後の対応方針)</p> <p>1)評価軸③－10 文化財保存地域計画作成事業 本計画は、杵築市の文化財に関するマスタープランでありアクションプランとなるもので、文化財分野につきましては上記計画に位置しますが、市の総合計画や都市計画マスタープランなど先行計画と整合性を持つように作成いたします。</p> <p>2)評価軸③－11 文化財案内版等整備事業 説明板にあわせて案内板の整備も検討いたします。</p> <p>3)評価軸③－12 歴史資料整備事業 本事業の計画期間を令和8年から12年としているため、未着手としております。現在の作業は本事業の事前準備作業です。</p> <p>4)評価軸④－6 文化財の保存及び活用の普及・啓発に関する事項 城下町散策の機会に活用を検討いたします。</p> <p>5)評価軸④－8 教育委員会等の体制に関する事項 事業は令和5年度で終了しておりますが、商工担当部局では、引き続き、モニターツアーなどを実施したコンテンツの商品化を進めています。</p> <p>6)歴史的風致維持向上計画の全体を通して 今後も引き続き、大学や関係機関、関係課と連携をとりながら計画を進めていきます。</p> | |